

復興に駆ける！

第 10 号
平成25年7月24日発行
岩手県立生涯学習推進
センター

平成 25 年度復興支援セミナー（推進センター会場 7 月 9 日開催）において「災害への対応」というテーマで御講義いただいた内容を紹介します。

盛岡地方気象台 防災業務課 地震津波防災官 藤原 昭三 さん

NTT東日本岩手支店 災害対策室 担当課長 古里 典之 さん



盛岡地方気象台の藤原さん

盛岡地方気象台の藤原さんには「東日本大震災をふまえた今後の地震防災」と題して御講義いただいた。3月11日の観測結果から、震度4以上の揺れが、場所によっては3分程度続いたことや津波の痕跡調査から、宮古市田老の青野滝漁港では33.8mの高さに達したことなどを話された。また、今回の震災を受けて改善された「津波警報」と本年8月30日制定予定の「特別

警報」について、そのポイントを説明いただいた。津波による災害の発生が予想される場合、地震発生後3分を目標に発表されるので、津波警報等を確認するとともに、更新された最新の情報を利用する必要があると力説されていた。最後に、災害から身を守るためには、積極的な対応という意味の『プロアクティブの原則』に則った対応が必要で、自らが考え、判断し、行動できるように日頃からの備えが重要であると教えていただいた。

引き続き、NTT東日本岩手支店の古里さんには「災害時の通信確保の取り組みと、お客様の備え」と題して御講義いただいた。古里さんは発災当時、被災された方々の通信の確保に向けて奔走した。釜石の拠点に勤務されており、停電が長期化する中で、自家用発電機の電源を頼りにお客様への対応を続けた。燃料が不足したときには、内陸拠点の方々が運んで来てくれたそうである。一般的に知られている「災害伝言ダイヤル・Web171」の他に、震災後に開発された「J-anpi 安否情報まとめて検索」についても紹介していただいた。これは、名前か携帯電話番号を入力すると、報道などの安否情報、各通信キャリアの災害伝言板を検索して見つけてくれるという便利なものである。最後に、停電時の備えとして、ルーター等のネットワーク機器の電源対策を教えていただいた。最近では、乾電池対応の充電器などもあり、安価で手に入るようになったので、これを準備しておけば停電時でも、IP電話やノートPCをネットに繋ぐことができ、より多くの情報が得られるとのことであった。



NTT 東日本岩手支店の古里さん

連絡先

盛岡地方気象台

Tel :019-622-7870

NTT東日本岩手支店

Tel :019-625-4960